

北海道ブロックにおける社会資本整備重点計画(原案)

現状と 主要課題

- ・北海道は我が国の食料供給基地。食の輸出、外国人観光客も急増。
- ・北海道の人口減少は全国よりも10年先に進展。本州等とは距離感の異なる広域分散型社会。

北海道ブロックの将来像

(1)人が輝く地域社会

(2)世界に目を向けた産業

(3)強靱で持続可能な国土

社会資本整備の重点目標とプロジェクト

【重点目標】

(1)北海道型地域構造の保持・形成に向けた
定住・交流環境の維持増進

(2)農林水産業・食関連産業など地域の強みを
活かした産業を支える社会基盤の整備

(3)世界水準の観光地の形成

(4)恵み豊かな自然と
共生する持続可能な地域社会の形成

(5)強靱な国土づくりへの貢献と
安全・安心な社会基盤の形成

(6)社会資本の戦略的な維持管理・更新

【プロジェクト】

定住・交流環境の維持増進

食料供給能力の強化と食に関わる産業の
高付加価値化・競争力強化のための社会基盤の整備

産業を支える人流・物流ネットワークの整備等

国際競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けた
観光の振興

自然共生社会の形成

低炭素社会の形成

頻発する自然災害に備える防災対策の推進

我が国全体の国土強靱化への貢献

道路交通事故等のない社会を目指した
交通安全対策の推進

インフラ老朽化・長寿命化対策

重点目標1 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

・プロジェクト1-1 定住・交流環境の維持増進

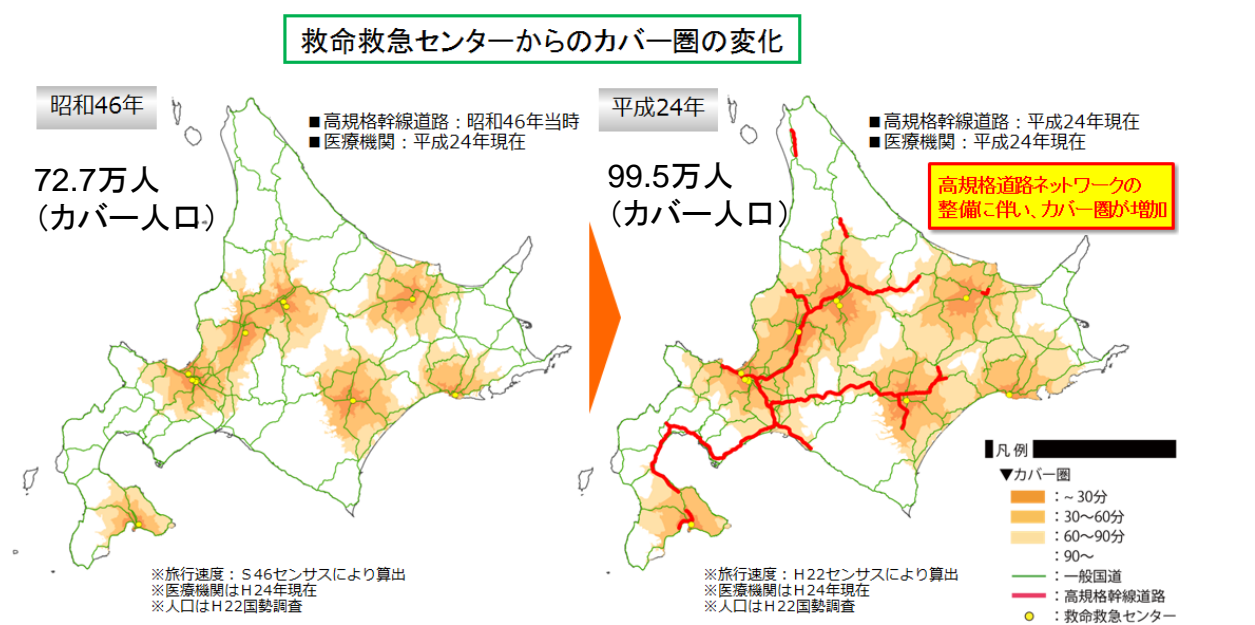
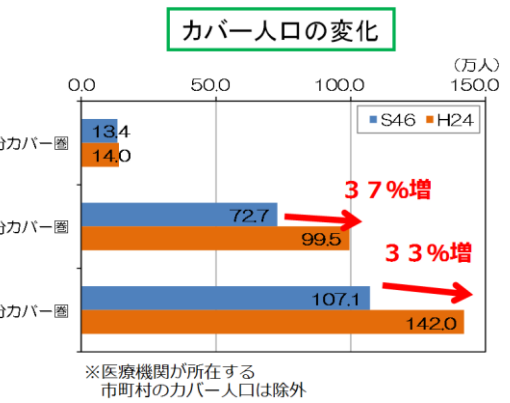
- 【主要取組の主な記載内容】**
- 【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】**
- 地域交通の維持・確保
 - 【地域公共交通確保維持改善事業の推進 (H27年度推進中)】
 - 安心して暮らせる魅力的なまちづくり
 - 【冬期ボランティアサポートプログラムの推進(道路)(H27年度推進中)】
- 【選択と集中の徹底】**
- <平成30年度までに事業が完成予定>
- 都市機能の維持・強化に資する人流・物流の円滑化
 - 【一般国道272号上別保道路(釧路町、標茶町) (H27年度工事中)[H30年度完成]】
- <平成32年度までに事業が完成予定>
- 都市間・地域間のアクセス向上
 - 【一般国道233号幌糠留萌道路(留萌市)(H27年度工事中)[H31年度完成]】
- 【既存施設の集約・再編】**
- <平成30年度までに事業が完成予定>
- 安心して暮らせる魅力的なまちづくり
 - 【都市再生整備計画事業(駅周辺へ図書館・地域交流センターを再編・集積)(釧路市) (H27年度設計中)[H29年度完成]】

- 【KPIや主要な指標】**
- 〔1〕特定都市再生緊急整備地域における国際競争強化に資する都市開発事業の事業完了数
【H26年度2 → H32年度3】
- 〔2〕公共施設等のバリアフリー化率
- ・ 特定道路におけるバリアフリー化率
【H25年度 93% → H32年度 100%】
 - ・ 特定路外駐車場におけるバリアフリー化率
【H25年度 49.6% → H32年度 約60%】
 - ・ 都市公園における園路及び広場、駐車場、便所のバリアフリー化率
【園路及び広場:H25年度 58% → H32年度 63%】
【駐車場:H25年度 40% → H32年度 55%】
【便所:H25年度 28% → H32年度 38%】

主要取組の事例

一般国道233号幌糠留萌道路(留萌市)

- ◆ 道路整備等により救命救急センターからの60分カバー人口が4割近く増加(S46 72.7万人 → H24 99.5万人)
- ◆ 今後も幹線道路の整備により地方の生産空間・市街地の機能の維持が期待



重点目標2 農林水産業・食関連産業など地域の強みを活かした産業を支える社会基盤の整備
 ・プロジェクト2-1 食料供給能力の強化と食に関わる産業の高付加価値化・競争力強化のための社会基盤の整備
 ・プロジェクト2-2 産業を支える人流・物流ネットワークの整備等

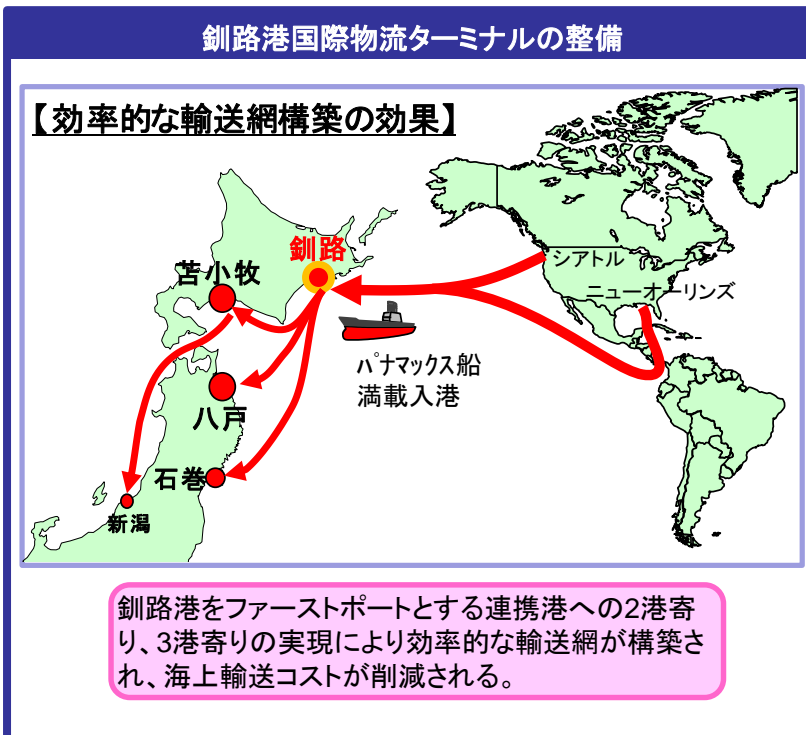
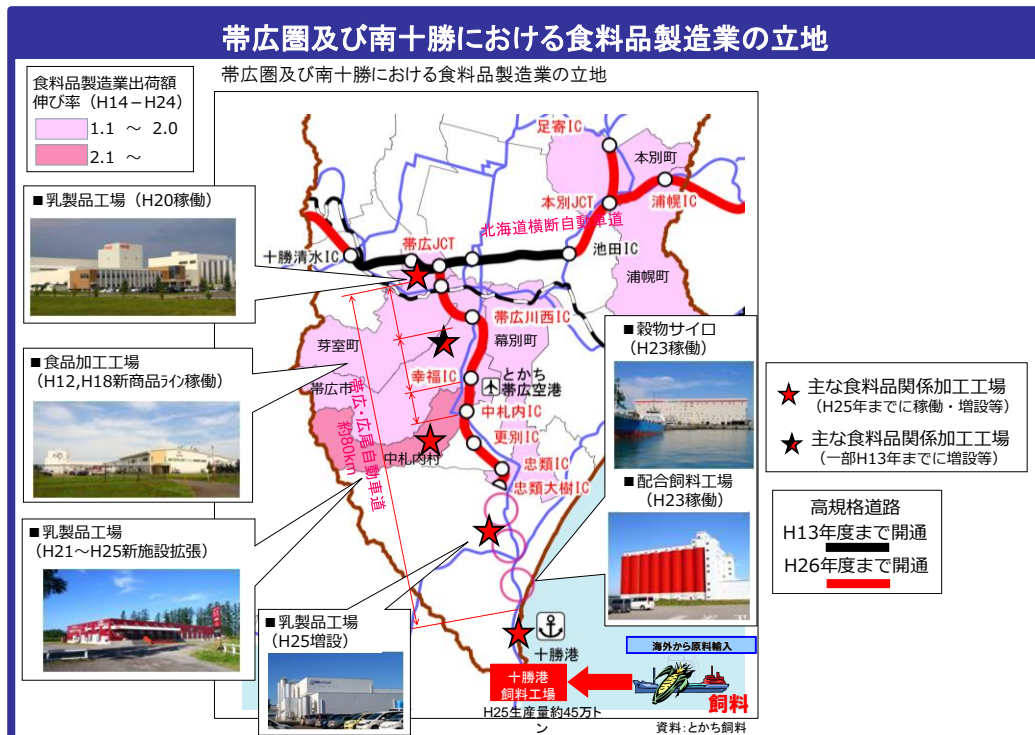
【主要取組の主な記載内容】

【選択と集中の徹底】

- <平成30年度までに事業が完成予定>
 - 生産地と消費地や空港・港湾とのアクセス強化
 - 【一般国道450号丸瀬布遠軽道路(遠軽町) (H27年度工事中)[H28年度一部完成]】
 - 港湾機能の強化による輸送コスト削減
 - 【釧路港(西港区)国際物流ターミナル整備事業(第2ふ頭)(釧路市) (H27年度工事中)[H29年度完成]】
- <平成32年度までに事業が完成予定>
 - 生産地と消費地や空港・港湾とのアクセス強化
 - 【一般国道337号泉郷道路(千歳市、長沼町) (H27年度工事中)[H31年度完成]】
- <平成30年代完成予定>
 - 港湾機能の強化による輸送コスト削減
 - 【十勝港内港地区国際物流ターミナル整備事業(広尾町) (H27年度工事中)[H30年代完成]】
- <完成時期未定>
 - 生産地と消費地や空港・港湾とのアクセス強化
 - 【北海道横断自動車道(本別～釧路)(白糠町、釧路市) (H27年度工事中)】

主要取組の事例・期待されるストック効果

- 釧路港国際物流ターミナル
 釧路港をファーストポートとする連携港への2港寄り、3港寄りの実現により、穀物の海上輸送コストを約4割削減。
- 十勝港国際物流ターミナル
 十勝港の整備に伴い、背後圏の供給能力が高まったことから、国際物流ターミナル背後に飼料工場、帯広・広尾自動車道の沿線に乳製品工場が立地。
- 北海道横断自動車道
 北海道横断自動車道の整備により、アクセス強化に伴う物流の効率化が図られ、地域の酪農に更に貢献。



重点目標5 強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成

- ・プロジェクト5-1: 頻発する自然災害に備える防災対策の推進
- ・プロジェクト5-2: 我が国全体の国土強靱化への貢献
- ・プロジェクト5-3: 道路交通事故等のない社会を目指した交通安全対策の推進

【主要取組の主な記載内容】

【既存施設の有効活用やソフト施策の推進】

<完成時期未定>

- 災害に備えた取組の推進
- 【自治体によるハザードマップの作成、防災訓練など地域防災力向上の取組みへの支援(H27年度推進中)】

【選択と集中の徹底】

<平成30年度までに事業が完成予定>

- 緊急輸送ネットワークの確保
- 【一般国道38・44号釧路外環状道路(釧路市、釧路町)(H27年度工事中)[H30年度完成]】

<平成32年度までに事業が完成予定>

- 水害対策等の推進
- 【千歳川遊水地工事(江別市、南幌町、北広島市、恵庭市、千歳市)(H27年度工事中)[H31年度完成]】
- 土砂災害対策等の推進
- 【石狩川上流直轄火山砂防事業 美瑛川床固工群(美瑛町)(H27年度工事中)[H32年度完成]】

【既存施設の集約・再編】

<平成30年度までに事業が完成予定>

- 公共施設の耐震化
- 【分散している官署を集約し耐震化を図る帯広第2地方合同庁舎新営(H27年度工事中)[H30年度完成]】

【KPIや主要な指標】

- ・官庁施設の耐震基準を満足する割合
【H26年度 85% → H32年度 95%】
- ・土砂災害警戒区域等に関する基礎調査結果の公表数及び区域指定数:
(公表)【H26年度約3千区域 → H31年度約1万2千区域】
(指定)【H26年度約2千区域 → H32年度約1万区域】
- ・最大クラスの洪水・内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上に繋がる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市町村の割合
【洪水:H26年度—→H32年度100%】
【内水:H26年度—→H32年度100%】

主要取組の事例

関係機関との連携強化

暴風雪災害の防止・軽減に向けて、防災関係機関が連携しリーフレットを作成したり、防災関係機関や市町村等と合同による災害対応訓練を実施。

暴風雪に関するリーフレット
(札幌管区気象台、北海道、寒地土木研究所、北海道開発局)

関係機関とのDIG形式による合同図上訓練

千歳川遊水地工事

- ・千歳川流域で、堤防整備等と遊水地群の整備を合わせた総合的な治水対策を推進
- ・これらの整備により、戦後最大規模の洪水が発生した場合でも浸水被害が解消される見込み。

帯広第2地方合同庁舎の整備

- ・関係者との連携の下、大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を推進
- ・新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により、地域の活性化に積極的に貢献

帯広財務事務所 (昭和39年築) ・耐震性能不足	
帯広税務署 (昭和42年築) ・耐震性能不足	
帯広開発建設部 (昭和29年築) ・耐震性能不足	

集約・再編

帯広第2地方合同庁舎